

文化財年表

この冊子で紹介している文化財を中心にできごとをまとめました。()は関連文化財の掲載ページ

年 号	西 暦	で き ご と
慶応2年	1866年	●大友亀太郎が大友掘り、御手作場を作る (P38)
明治2年	1869年	●開拓使が設置される ●島判官が札幌本部の建設をはじめる
4年	1871年	●清華亭のある偕楽園がつくられる (P30)
5年	1872年	●簾舞通行屋ができる (P32) ●創成橋が架けられる
6年	1873年	●開拓使札幌本庁舎ができる (P19)
8年	1875年	●琴似屯田兵村が開村する (P20)
9年	1876年	●開拓使真駒内牧牛場がつくられる (P51)
10年	1877年	●札幌農学校模範家畜房(モデル・バーン)・穀物庫がつくられる (P11) ●クラーク博士が札幌を去る
11年	1878年	●旧札幌農学校演武場(時計台)ができる (P4)
12年	1879年	●開拓使札幌本庁舎が焼失する (P19)
13年	1880年	●豊平館・清華亭ができる (P6・P30) ●この頃旧永山武四郎邸がつくられる (P24)
14年	1881年	●時計台に時計塔が付けられる (P4) ●清華亭に明治天皇がご休憩される (P30)
15年	1882年	●開拓使が廃止される ●札幌博物館(現植物園内)ができる (P12)
16年	1883年	●この頃、手稲山口にバッタ塚がつくられる (P41)
19年	1886年	●三県一局が廃止され、北海道庁が置かれる
20年	1887年	●新琴似屯田兵村が開村する (P28・P29)
21年	1888年	●北海道庁旧本庁舎(赤れんが)ができる (P10)
25年	1892年	●この頃、富山県から丘珠に獅子舞が伝えられる (P40)
29年	1896年	●北海道庁旧本庁舎の八角塔が撤去されたが、昭和43年に修復される (P10)
36年	1903年	●札幌農学校(現北海道大学)の新校舎が完成する (P49・P50)
42年	1909年	●北海道庁旧本庁舎がレンガ材を残して焼失したが、明治44年に再建される (P10)
42年	1909年	●月寒水道(西岡水源地取水塔)ができる (P52)
44年	1911年	●札幌農学校家畜房(モデル・バーン) ●穀物庫が第二農場に移される (P11)
大正8年	1919年	●八窓庵が滋賀県長浜市から札幌に移される (P8)
10年	1921年	●円山・藻岩山原始林が天然記念物に指定される (P22)
11年	1922年	●札幌区が市となる
15年	1926年	●旧札幌控訴院庁舎(札幌市資料館)ができる (P15)
昭和33年	1958年	●豊平館が解体されて現在地(中島公園)に移される (P6)
34年	1959年	●札幌市文化財保護条例が作られる
46年	1971年	●八窓庵が中島公園に移される (P8)
61年	1986年	●豊平館の修復工事が終わる (P6)
平成10年	1998年	●旧札幌農学校演武場(時計台)の保存修理工事が終わる (P4)
18年	2006年	●旧永山武四郎邸の保存改修工事が終わる (P24)
20年	2008年	●八窓庵の復旧工事が終わる (P8)
28年	2016年	●豊平館の保存修理工事及び活用整備工事が終わる (P6)
30年	2018年	●旧三菱鉱業寮保存活用工事が終わる (P57)